



高温高圧環境下での腐食試験

腐食環境の油井、CO₂インジェクション、CO₂貯留に使用される材料の開発・評価・選定

- 過酷な環境で使用される油井管の開発・評価、昨今脚光を浴びている二酸化炭素による石油やガスの二次回収、二酸化炭素の貯留に使用される材料の開発・評価を支援致します。
- 金属のみならず、有機化合物やカーボン樹脂複合材料等の高分子材料の評価も可能です。

試験機の仕様

30MPaオートクレーブ

- 容量: 約10ℓ (内径φ200mm × 深さ300mm)
- 設計圧力: Max.30MPa
- 設計温度: Max.250℃

70MPaオートクレーブ

- 容量: 約10ℓ (内径φ160mm × 深さ490mm)
- 設計圧力: Max.70MPa (国内最大レベル)
- 設計温度: Max.250℃

特徴

- 試験可能雰囲気
炭酸ガス雰囲気
(常圧で下記的气体を飽和させる事も可能です)
・硫化水素ガス Max.30%
・酸素ガス Max.10%
- 試験槽が大きいため、同一条件下で複数の材料評価や、実製品の評価が可能
- 攪拌機により流動下での耐食性評価も可能

試験例

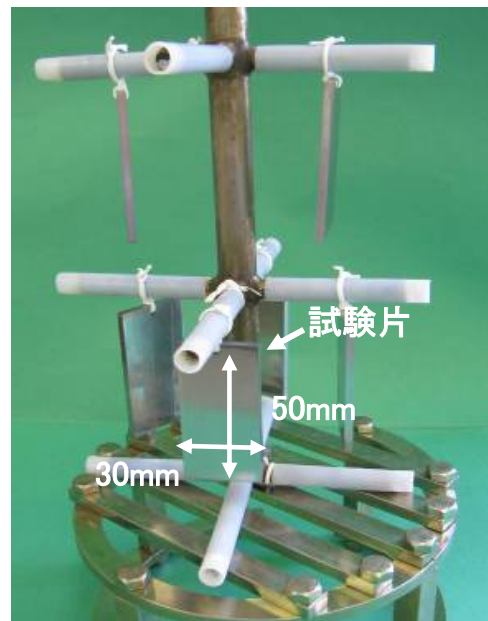
● 70MPa試験機外観



試験数量

腐食減量試験
(クーポン試験片: Max.8枚/槽)
応力腐食割れ試験
(4点曲げ試験片: Max.12枚/槽)

● 腐食減量試験例



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2011 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。